

田沼意次と寛政の改革.1

名前

解答

解答

- 問1 年貢に頼るのではなく、商工業を発展させる経済政策によって幕府の財政を立て直そうとした老中は誰か。
 (田沼意次)
- 問2 問1の人物は、商人に株仲間をつくることをすすめた。株仲間とは何か。
 (商人が同業者ごとに作った組合)
- 問3 1782年に起きた全国的なききんを何というか。
 (天明のききん)
- 問4 松平定信は1787年に老中になった。松平定信の行った改革を何というか。
 (寛政の改革)
- 問5 次のうち松平定信が行ったこととして正しいものを全て選べ。
 ((B),(C),(D))
- (A) 公事方御定書という法律を定めた。
 (B) 昌平坂学問所を江戸に創った。
 (C) 江戸に出てきていた農民を故郷に帰し、米などの生産をすすめた。
 (D) 旗本や御家人が商人からしていた借金を帳消しにした。
 (E) 目安箱を設置した。
- 問6 松平定信が人々の反感をかった理由として正しいものはどれか。
 ((C))
- (A) キリスト教を禁止したから。
 (B) 外国との貿易を禁止したから。
 (C) 政治批判を禁じたり、出版を厳しく統制したから。
 (D) 刀狩りによって武具を取り上げたから。
 (E) 貨幣の質を下げたから。
- 問7 1792年、ある国の使節が蝦夷地の根室に来航した。ある国とは、どこか。また、使節の名前を答えよ。
 (国名:ロシア) (使節:ラクスマン)
- 問8 1804年に、ロシアの使節が長崎に来航して交渉を求めた。使節の名前を答えよ。
 (レザノフ)
- 問9 ロシアを警戒した幕府は、蝦夷地や樺太の調査を命じた。樺太の調査を行ったのは誰か。
 (間宮林蔵)

